

## 中小企業信用保険法第2条第5項第7号規定による 認定申請書に必要な書類

書 類 名	提 出 部 数	取 り 寄 せ 先
① 様式第7 「中小企業信用保険法第2条第5項 第7号規定による認定申請書」	2部	産業振興課
② 借入残高証明書における計算書	1部	
③ 全ての金融機関からの借入残高証明書	各1部（コピー可）	全ての金融機関
④ 上記③の前年同期の借入残高証明書	各1部（コピー可）	
⑤ 法人：決算書 （表紙、決算報告書、借入金の明細部分） ----- 個人：確定申告書	1部（コピー可）	登記所等
⑥ 印鑑証明書	1部（コピー可）	
⑦ 商業登記簿謄本	1部（コピー可）	
⑧ 委任状 （金融機関の担当者が代理申請を行う 場合のみ）	1部	
<p>提 出 先：草加市役所 産業振興課</p> <p>留意事項：本認定とは別に、金融機関及び信用保証協会における金融上の審査があります。</p>		

《認定基準》 次の各項目すべてに該当すること。

- 1 経済産業大臣の指定を受けた金融機関（以下「指定金融機関」という。）と金融取引を行っており、指定金融機関からの借入残高が、総借入残高に占める割合が 10%以上 であること。
- 2 指定金融機関からの直近（申請する月の前の月の末日時点）の借入残高が、前年同期と比べて 10%以上 減少していること。
- 3 総借入残高が前年同期と比べて減少していること。

《記入上の注意》

- 1 印鑑は、実印をお願いします。
- 2 減少率は、少数点第2位以下は切り捨ててください。

### 備考

経済産業大臣の指定を受けている指定金融機関は期間によって異なりますので、申請の際は確認をお願いいたします。

様式第 7

中小企業信用保険法第 2 条第 5 項第 7 号  
規定による認定申請書

平成 年 月 日

草加市長

あて

申請者

住 所

氏 名

㊦

私は、\_\_\_\_\_が、経営の相当程度の合理化に伴う金融取引の調整を行っていることにより、下記のとおり、借入れの減少が生じ、経営の安定に支障を生じておりますので、中小企業信用保険法第 2 条第 5 項第 7 号の規定に基づき認定されるようお願いします。

記

1 金融機関からの総借入金残金のうち、\_\_\_\_\_からの借入金残高の占める割合

$$\text{_____} \% \left[ \frac{A}{B} \times 100 \right]$$

A 平成 年 月 日の\_\_\_\_\_からの借入金残高 \_\_\_\_\_ 円

B 平成 年 月 日の金融機関からの総借入金残高 \_\_\_\_\_ 円

2 \_\_\_\_\_からの借入金残高の減少率 \_\_\_\_\_ %  $\left[ \frac{(D-C)}{D} \times 100 \right]$

C 平成 年 月 日の\_\_\_\_\_からの借入金残高 \_\_\_\_\_ 円

D 平成 年 月 日の\_\_\_\_\_からの借入金残高 \_\_\_\_\_ 円

(注：C の前年同期を記入)

3 金融機関からの総借入金残高の減少率 \_\_\_\_\_ %  $\left[ \frac{(F-E)}{F} \times 100 \right]$

E 平成 年 月 日の金融機関からの総借入金残高 \_\_\_\_\_ 円

F 平成 年 月 日の金融機関からの総借入金残高 \_\_\_\_\_ 円

(注：E の前年同期を記入)

草産第 \_\_\_\_\_ 号

平成 年 月 日

申請のとおり、相違ないことを認定します。

(注) 本認定書の有効期間：平成 年 月 日から平成 年 月 日まで

草加市長

様式第 7

中小企業信用保険法第 2 条第 5 項第 7 号  
規定による認定申請書

平成 年 月 日

草加市長 あて

申請者

住 所

氏 名 ㊦

私は、\_\_\_\_\_が、経営の相当程度の合理化に伴う金融取引の調整を行っていることにより、下記のとおり、借入れの減少が生じ、経営の安定に支障を生じておりますので、中小企業信用保険法第 2 条第 5 項第 7 号の規定に基づき認定されるようお願いします。

記

1 金融機関からの総借入金残高のうち、\_\_\_\_\_からの借入金残高の占める割合

\_\_\_\_\_ %  $\left[ \frac{A}{B} \times 100 \right]$

A 平成 年 月 日の\_\_\_\_\_からの借入金残高 \_\_\_\_\_ 円

B 平成 年 月 日の金融機関からの総借入金残高 \_\_\_\_\_ 円

2 \_\_\_\_\_からの借入金残高の減少率 \_\_\_\_\_ %  $\left[ \frac{(D-C)}{D} \times 100 \right]$

C 平成 年 月 日の\_\_\_\_\_からの借入金残高 \_\_\_\_\_ 円

D 平成 年 月 日の\_\_\_\_\_からの借入金残高 \_\_\_\_\_ 円  
(注：C の前年同期を記入)

3 金融機関からの総借入金残高の減少率 \_\_\_\_\_ %  $\left[ \frac{(F-E)}{F} \times 100 \right]$

E 平成 年 月 日の金融機関からの総借入金残高 \_\_\_\_\_ 円

F 平成 年 月 日の金融機関からの総借入金残高 \_\_\_\_\_ 円  
(注：E の前年同期を記入)

草産第 \_\_\_\_\_ 号

平成 年 月 日

申請のとおり、相違ないことを認定します。

(注) 本認定書の有効期間：平成 年 月 日から平成 年 月 日まで

草加市長

## 借入残高証明書における計算書

1 平成 年 月 日現在時点の借入残高

	申請する金融機関名	借入残高
		(A 及び C) 円

上記の金融機関を含むその他の金融機関からの借入残高

	金融機関名	借入残高
1		円
2		円
3		円
		円
		円
合 計		(B 及び E) 円

2 : 1 の期間に対応する前年の借入残高  
(平成 年 月 日現在時点の借入残高)

	申請する金融機関	借入残高
		(D) 円

上記の金融機関を含むその他の金融機関からの借入残高

	金融機関名	借入残高
1		円
2		円
3		円
		円
		円
合 計		(F) 円

以上、この額に相違ありません。  
平成 年 月 日

申請者  
住 所  
氏 名